国際ロータリー第 2550 地区

黒 磯 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 報

国際ロータリー会長:シェカール・メータ
第 2550 地区ガバナー: 石田順一
事務所:〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
ベルヴィ宇都宮内
TEL:028-651-2550
FAX:028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会 長:荒牧明二 幹 事:安藤譲治
事務局:食健サロンるる塩梅
代表 安藤譲治
〒325-0055 那須塩原市宮町2-8
TEL:0287-73-5101・FAX:0287-73-5102
E-mail:hideki_akiba@akibacorp.com
例 会:国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2957回 荒牧年度第26回例会会報 2022-4-20 司会村山茂君

会長挨拶 荒牧明二会長

皆様こんにちは、観桜会は終わり桜も散りましたが、日本人にとって桜は、特別な存在です。桜にまつわる美しい言葉には、日本人の桜に寄せる並々ならぬ想いが込められています。

気象情報でもよく使われる「花冷え」の意味とは、桜が咲く頃に冷え込むことです。この時期の薄くぼんやりと曇った空模様を「花曇り」、桜が咲く頃の冷たい雨を「花時雨」と呼びます。

桜の散る様子を表す言葉にも、味わい深いものが沢山あります。散る桜を「零れ桜」、花びらを散らす雨を「桜流し」、花びらが乱れ散る様を「桜吹雪」、桜の花盛りの頃に吹く強い風を「花嵐」と呼びます。

さらに、散かったあとの花が散り敷く様子を表す「花筵」、散った花びらが水面に浮かんだ様を表わす「花筏」は、物にたとえた美しい言葉です。

含蓄の深い言葉として、「花疲れ」があります。人での多い花見に出かけたあとの疲れを意味します。これは、花の美しさに酔いしれたあとの心地よい疲れ、と味わう方が、桜の花に似つかわしいかも知れないです。

話は変わります。月初めの4月2日から8日まで「発達障害啓発週間」でした。発達障害は、生まれながらの脳の特徴により、発達に偏りがある状態のこと。広い意味では「個性」と言えます。

自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠陥多動障害(ADHD)、学習障害(LD)、チェック症など、発達障害者はその特性ゆえに周囲から誤解を受けやすく、悪意がないのに結果的にトラブルにつながってしまうことは珍しくありません。

一見「障害者の言動で周囲の人が困っている」構図になりがちですが、一番困っているのは障害者自身であり、その家族です。

世界の人口の15%、約12億人が何らかの障がいと共に生きています。2006年に国連で採択された「障害者権利条約」には、障害は個人の問題ではなく、社会の側が変わらねばならない課題であるとの視座が打ち出されています。

「障害と経済」をテーマに研究を続ける東京大学大学院の松井彰彦教授は日常生活における「物の見方」について「普通」を問い直す重要性を訴えています。

「社会のきまりも、『平均的な人』に向けてつくられたものばかりであり、その決まりに適応できない人が『障害者』等と認識される」と述べています。制度上は「障害者/非障害者」と言う基準で線引きされる場面もありますが私たちの見方や考え方までもが、二分法になってはならないと警鐘を鳴らしております。そして「たとえ同じ人であっても、『この場面では問題ないけれども、別の場面ではサポートが必要だな』と言うように、柔軟に捉えていく視点がたいせつ」と語っています。

顔や体形、性格など、人それぞれ。一人として同じ人間はいないとおもいます。「その違いを、『排除しようとする方向』ではなく、『認め合う方向』へと『心のベクトル』を変えていくことが大切だと思います。『みんなって素晴しい』ということを教えていかねばなりません。多様性があってこそ、社会は、さまざまな力を発揮するのです」

学校や仕事の成績には順番があるかもしれま

出席報告 渡辺裕雄会員 (出席規定の免除会員数6名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 4月20日	36 (6)	28 (4)	8 (2)	82.4%	—	—
前回 4月13日	36 (6)	31 (4)	5 (2)	91.2%	0	91.2%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

せんが。しかし、生命に序列はつけられません。誰しもが「一番」なのです。この人間主義の哲学を根本に、思いやる心を広げてはいけば、もっと優しい社会になると思いますし、心掛けたいです。
以上で会長挨拶を終わります。有難うございました。

幹事報告　安藤譲治幹事

先週の60周年記念式典はお疲れ様でした。田中委員長さんをはじめ実行委員会の皆様ありがとうございました。無事に終了できて良かったです。

幹事報告

- ガバナー事務所より、高校生RYLAセミナーの案内が届いています。
  鈴木隆子青少年奉仕委員長と黒磯高校インターアクトクラブ顧問の和久井先生に転送いたしました。
- ガバナー事務所より、インターアクト会長幹事研修会及び第2回合同会議の案内が　届いています。鈴木隆子青少年奉仕委員長、井出法次年度青少年奉仕委員長と黒磯高校インターアクトクラブ顧問の和久井先生に転送いたしました。
- 西那須野ロータリークラブより、創立50周年記念式典の案内が届いています。
  6月5日に開催されますが、会長・幹事で出席する予定です。
- ４月２４日（日）１４：００から、第９回全国インターアクト研究会がZOOMで開催されます。後でメールをお送りしますのでぜひご参加ください。

委員会報告　稲垣政一副会長

委員会報告をお持ちの方は挙手願います。

○田中徹60周年実行委員長

先週行われました黒磯ロータリークラブ創立60周年記念式典、無事に行われました。
皆様のご協力に感謝申し上げます。
特に炉辺会議もままならない状況での準備で各委員長さんはご苦労なさった事と思います。重ねてお礼申し上げます。
残すところは記念誌の発行ですが現在、秋間委員長をはじめ委員会の精鋭部隊が頑張っておりますので問合せ等がございましたらご協力をお願い致します。
尚、今回は会計報告書を配布致しますので立替金及び未払金等ございましたら至急会計担当の黒澤さん迄お願い致します。

○大島三千三次年度幹事

本日例会終了後、植竹年度第一回臨時理事役員会を開催致します。該当される方はご出席宜しくお願い致します。

○井出法社会奉仕委員長

社会奉仕委員会より5月活動予定を2点ご報告申し上げます。

まず5.21(土)に、青少年奉仕委員会と共に、黒磯高校インターアクトクラブ部員の方々との足尾植樹を予定しています。

昨年はコロナ禍で中止、今年は何とか開催されますが、全体の開催規模は縮小されるとのことです。

詳しい当日のスケジュール等は、後日再度ご連絡申し上げる予定ですが、ご都合がつく方は是非ご参加いただければと存じます。

5.28(土)は、那珂川水質調査を予定しております。前日又は当日に雨の場合は、川が濁ってしまい正確な調査ができないためまた改めて日程を決める予定としております。

ニコニコボックス　時庭稔会員

瀬尾紀夫会員　　祈世界平和

卓話　秋間忍地区委員

地区I T推進委員会に出向させていただいております秋間忍です。

地区I T推進委員会は今のところ面談での会合は開催されておらず、最低限の連絡のみとなっております。そこで本日は前半に一般的なI T推進についてお話しさせていただき、後半に黒磯ロータリークラブ60周年記念誌委員会の中間報告をさせていただきます。

＜I T推進について＞

ITと聞くとインターネットやコンピュータ、スマホといった電子機器を連想されると思いますが、元来

IT（Information Technology：情報を取得、加工、保存、伝送するための科学技術）は電子機器の分野に限られるものではありません。

例えば、思考や言葉を形状で表記し、それを読み、書きして遠方の人に意思を伝える技術は、文字を使えない人々にとって手の届かない最新のITであったと思われます。江戸時代、江戸から大阪に緊急事態を伝えようとすれば手紙を「飛脚、早駕籠、早馬」で運ばせるのが常でした。

現代と比較すれば文章で伝えられる情報には限りがあり、手紙を運ぶスピードも平均時速数キロという代物でしたが、手紙を送れない、読み書きできない庶民もいましたので、その時代にすれば最先端の情報技術でした。

いつの世も手が届かなければITは庶民に関係ないと考えられがちです。歴史を振り返れば、戦争には、スパイ、通信傍受、暗号、情報管制など戦局を有利に運ぼうとするため手段がなりふり構わず使われ、その時代の科学における究極のITが登場しました。

第二次世界大戦では旧日本軍が使っていた暗号がアメリカ軍に解読されていたこと、ナチスにとって最強、最高軍事機密だった暗号、通称「エニグマ」が連合軍に解明されたこと、ウクライナ戦争では通信衛星を使ってロシア軍の進行がNATO側によって掌握されていることなどが戦局を大きく左右した（している）と考えられます。

話がちょっと脱線しましたが、ロータリーが推奨する「IT推進」とは情報技術を活かして我々の奉仕活動、生活、企業、社会を豊かにし、世の中の課題を効率よく解決しようという啓蒙運動です。

しかしながら「IT推進」の分野で日本は国際的に決して先進国と言える状態ではありません。政府もデジタル庁（デジタル社会形成の司令塔として、未来志向のDXを大胆に推進し、デジタル時代の官民のインフラを今後5年で一気呵成に作り上げることを目指す）を設置し、2025年の大学入学共通テストから、国立大学の一般選抜の受験生に原則として、従来の5教科7科目に教科「情報」（科目は情報Ⅰ）を加えた6教科8科目が課すなど、政策実現に躍起になっています。

そこで、我々も、身近な日常生活にもいろいろな変化が起きていることに注意深く関心を持ち、一度真の課題は何かまで立ち返って解決策を模索し、もしその糸口がもしITにあれば既成概念に取れわれず積極的にIT活用するという方向性、すなわちD X（デジタル・トランスフォーメーション）を推進するというのが肝要と考えます。

＜黒磯ロータリークラブ創立60周年記念誌委員会中間報告＞

創立60周年記念誌委員会は稲垣副委員長、相馬委員、藤﨑委員、瀧田委員、吉光寺委員と委員長の秋間からなるメンバー構成で、昨年12月28日に第1回、今年4月5日に第2回目の記念誌委員会が開催され、紙媒体の小冊子による記念誌発刊、製本は黒磯印刷様にお願いすることが決まっております。

既に、渡辺美知太郎那須塩原市長、平山幸宏那須町町長、石田順一ガバナー、阿部欣文宇都宮ロータリークラブ会長から祝辞（原稿、写真）をいただいており、過日挙行された記念事業、記念式典の資料原稿もほぼ揃ました。

今後、創立60周年記念事業反省会の有無を待って最終の編集、製本に入る予定で、全体の概要は30、40周年記念誌とバランスが取れるもの（創立56周年から50周年の活動記録が主体）になる予定です。

ご清聴ありがとうございました。

出席報告　渡辺裕雄会員

4月20日欠席者（敬称略）
秋葉秀樹　荒井昌一（免）　小野安正　澤田吉夫
髙木茂　瀧田雅仁　戸野俊介　和気勝利（免）

前回4月13日分メークアップ（敬称略）
該当者無し

次回例会　　令和4年5月11日　担当　青少年奉仕委員会

近隣クラブ例会日
○火曜日　西那須野/いとう屋　0287-36-0028
○木曜日　大田原中央/勝田屋記念会館　0287-23-4165

近隣クラブ例会日
○木曜日　大田原/ホテル花月　0287-54-1105
○金曜日　黒羽/ホテル花月　0287-54-1105

会報委員会：吉光寺政雄・鳥居輝一・髙木慶一・瀧田雅仁・藤﨑善隆